

秦野市議会議員

やひろ伸二



# 議会だより

連絡先:

〒259-1392 秦野市堀山下1番地

TEL. 0463-88-2777 (後援会事務所)

ホームページ: <https://www.shinjiyahiro.com>

## 令和7年3月秦野市議会第1回定例会会議報告



令和7年3月秦野市議会第1回定例会会議(予算議会)が、2月21日~3月24日の日程で開催され、市長提出議案27件、報告5件、陳情8件、議提議案4件、委員会提出議案1件を審議・議決しました。主な内容は以下の通りです。

### 1. 令和7年度予算(過去最大)を承認

＜令和7年度当初予算の総額＞

| 会計区分          | 令和7年度         | 令和6年度         | 伸率    |
|---------------|---------------|---------------|-------|
| 一般会計          | 640億7,000万円   | 605億8,000万円   | 5.8%  |
| 水道事業会計        | 43億6,700万円    | 32億6,500万円    | 33.8% |
| 公共下水道事業会計     | 53億3,900万円    | 51億6,600万円    | 3.3%  |
| 国民健康保険事業特別会計  | 167億4,800万円   | 165億9,100万円   | 0.9%  |
| 介護保険事業特別会計    | 150億3,200万円   | 144億9,200万円   | 3.7%  |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 34億1,000万円    | 32億3,900万円    | 5.3%  |
| 合計            | 1,089億6,600万円 | 1,033億3,300万円 | 5.5%  |

令和7年度の全6会計(上表)の予算合計額は過去最高額となる1,089億6,600万円と前年度に比べ5.5%増となり、そのうちの一般会計予算は640億7,000万円と前年度に比べ34億9,000万円(5.8%)増となりました。

歳入は、前年度に比べ賃上げなどの影響を見込み市税が13億円増となります。普通交付税は前年度より4億3,000万円増となる一方で代替財源である臨時財政対策債は発行しないため前年度に比べ1億3,000万円増となります。

歳出は、児童手当、生活保護、施設型給付などにより扶助費が増加、高齢化により介護保険事業と後期高齢者医療事業への繰出金の増加により社会保障費が伸び続けています。建設事業費では、秦野市・伊勢原市共同消防司令センターの整備が完了したことなどにより前年度に比べ4億2,152万円減となりました。この予算案は、賛成多数で承認されました。私は、財政的には厳しい状況ではありますが健全経営となっていると評価し賛成しました。

＜一般会計予算で金額が大きい主な事業(給与費以外)＞

| 事業名                 | 予算額        |
|---------------------|------------|
| 介護給付・訓練等給付費         | 44億2,635万円 |
| 生活保護費               | 41億2,664万円 |
| 施設型給付費(子ども・子育て支援給付) | 30億9,464万円 |
| 市債償還元金              | 31億3,823万円 |
| 児童手当費               | 29億1,991万円 |
| 介護保険事業特別会計繰出金       | 23億742万円   |

＜主な新規事業＞

| 事業名                  | 予算額     |
|----------------------|---------|
| 結婚支援事業費              | 2,700万円 |
| 名水サミット開催事業費          | 1,571万円 |
| 第30回全国報徳サミット秦野大会開催経費 | 1,167万円 |
| 中小企業合同入社式開催事業費       | 69万円    |

### 2. 負担付き寄付(はだのスポーツビレッジ)



▲はだのスポーツビレッジの完成イメージ

令和5年11月28日、本市と特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブは「はだのスポーツビレッジ」の整備に向けた基本合意を結びました。令和7年2月13日には、本市と特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブ及び湘南造園株式会社との間で「はだのスポーツビレッジの整備に向けた協定」が締結されました。この協定に基づき、渋沢丘陵一帯の活性化やにぎわいの創出につながるスポーツの拠点として「はだのスポーツビレッジ」を整備するため、負担付き寄附を受領することとなり、地方自治法の規定により議会の議決が求められ、賛成多数で可決しました。

これにより、令和8年度中の供用開始を目指すことになりました。

＜主な寄附物＞

| 寄付者                       | 寄付対象   |
|---------------------------|--|
| ① 特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブ | 【造成物：約24,000㎡】<br>多目的天然芝グラウンド、パークゴルフコース(9ホール)、MTBコースほか |
| ② 湘南造園株式会社                | 【建設物：約270㎡】<br>ミーティングルーム、ロッカールーム、事務室ほか                 |

### 3. ほりかわ幼稚園の閉園

秦野市立ほりかわ幼稚園を「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」に規定する公私連携幼保連携型認定こども園(ペコちゃんこども園ほりかわ)として、令和7年4月1日から移行することに伴い、秦野市立ほりかわ幼稚園を廃止する議案が出され賛成多数で可決しました。



▲園児を見守るペコちゃん・ポコちゃん

# 令和7年3月第1回定例月会議 代表質問内容 やひろ伸二



「令和7年度 施政方針」について、会派（創和会・市民クラブ）を代表し、6つのリーディングプロジェクトに対し合計21項目の質問を行いました。主な質問内容と回答は下記の通りです。

## 1. 健康で安心して暮らせるプロジェクト

### 質問

- 問1：令和7年11月に開催予定の名水サミットを秦野名水の魅力発信へ、どのように繋げるのか？  
問2：八潮市の道路陥没事故を受けて緊急点検を行ったようだが、今後の点検・調査方針はどのようなか？

### 回答

- 答1：イベントなどを通じて「秦野名水」の魅力を感じていただける機会を提供するなど、本市の豊かな自然環境や水文化を広く発信することができるので、その価値を再認識してもらい、観光客誘致や地域活性化にも繋がることを期待しています。  
答2：埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け国から点検の方法や対象を見直す方針が示されたことから、その内容を踏まえ、「総合計画後期基本計画」に位置付けた上で、主要な下水道管路内のテレビカメラを用いた調査などの実施に向け検討します。

## 2. 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

### 質問

- 問1：放課後児童ホームへ新たに入退室管理システムを導入するようだが、導入に至った経緯は？  
問2：医療的ケア児の対応で「入園・入学支援連携会議（仮称）」が設置されているがどのようなものか？

### 回答

- 答1：入退室管理システムの導入で、保護者への緊急時のメール連絡ができる機能が加わるほか、児童の出欠や帰宅の状況が管理できるようになるなど、さらに保護者が安心して子どもを預けられる環境が整うと考えています。  
答2：保育所や学校などへの入園、入学を希望する医療的ケア児について、その支援に関する情報を共有できる会議であり、主治医や訪問看護師などからの助言を受けることで、施設において適切な支援を行うことができるよう調整を図っていきます。

## 3. 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

### 質問

- 問1：鶴巻温泉駅の活性化に向け、ジビエ+温泉での周辺自治体との差別化や連携の考えは？  
問2：「はだのスポーツビレッジ」を知っている市民が少ないように感じているが、どう周知するのか？

### 回答

- 答1：「かながわ観光連携エリア推進事業」を県が開始する。この事業を活用し、周辺自治体との連携を図りながら、「ジビエの食べられるまち鶴巻温泉」の独自性を打ち出していきます。

- 答2：今定例月会議での議決後、「はだのスポーツビレッジ」の運用について、具体的検討段階に入るので、認知され愛される施設となるよう、市民への周知も含め着実に事業を進めてまいります。

## 4. 新東名・246号バイパスの最大活用プロジェクト

### 質問

- 問1：羽根森林資源活用拠点（仮称）の造成工事には、最大15億円が見込まれ、国の地方債（緊急自然災害防止対策事業費債）を適用するということですが、この地方債が継続されない場合の対策は？  
問2：戸川土地地区画整理事業で行政としては、どのような企業へ誘致したいのか？

### 回答

- 答1：他の補助金や財源の確保について引き続き検討するとともに、費用対効果の検証を進めたいうえで、総合的な見地から事業化の判断をしてまいります。  
答2：これまで30社を超える企業から問い合わせなどを受けています。誘致は、工場見学など周辺の表丹沢の観光施策に繋がる企業などに進出して欲しいと考えています。

## 5. 移住・定住活性化プロジェクト

### 質問

- 問1：親世帯との同居や近居による助成金加算を創設することによる効果は？

### 回答

- 答1：若者のUターンを促進し、市内在住者の転出抑制が図られることで、秦野をふるさととする世帯の定住に繋がることが期待できます。

## 6. 新たな日常創造プロジェクト

### 質問

- 問1：行政のデジタル化促進について、これまでの取り組みの振り返りと新年度中に実施をめざす取り組みは何か？  
問2：自治会SNS「いちのいち」の新たな機能の狙いと普及率向上は？

### 回答

- 答1：公共施設窓口のキャッシュレス決済導入、母子健康手帳アプリにおける来庁予約などの取り組みを進めます。さらに、内部事務へ生成AIを全庁的に利用し効率化への環境整備を進めます。  
答2：自治会内でのアンケートや自治会館予約、防災倉庫の物品管理などの機能が随時追加される予定です。機能追加による利便性向上で利用世帯の拡大を図ってまいります。